

kanamoto ■ カナモトエクザミナー
examiners

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

vol.101

第58期(2022年10月期)第3四半期号

イベントレポート

第4回建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO2022)に出展しました。

2022年5月25日~27日に幕張メッセ(千葉市)で開催された第4回建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO2022)に、当社は連結子会社であるユナイト株式会社および株式会社ソーキと共同出展いたしました。日々進化しているデジタル化やロボット技術の最前線を体感できる当イベントには、過去最多の325社・展示ブース1,800小間で、昨年比8,000人増となる延べ4万人超の来場があり、当社ブースにも連日多くの方にお立ち寄りいただきました。当社ブースでは、建設DXやICT施工など「現場の安全性・生産性向上」をサポートする主力ラインナップ製品の展示、動画によるプレゼンテーションのほか、屋外ブースでは実機によるデモンストレーションも実施するなど、おかげさまで大盛況のうちに終えることができました。

主な展示製品

株式会社カナモト

- 3D マシンガイダンスシステム「3D-MG Grade Matrix」
- 自動追尾3DMGシステム
「ECONOMY E三・S(イーサン・エス)3DMGSystem」
- 建設機械の接触事故防止システム「ナクシデント」
- 3眼カメラ配筋検査システム
- 地盤改良管理システム など



実機デモも好評をいただいた屋外ブース



メディア取材を受ける当社の屋外ブース



ICT 舗装工関連製品などを展示したユナイトの屋外ブース

今回の出展を通じて地域・業種を超えた交流を深めることができ、貴重な機会となりました。当社ブースにお立ち寄りいただいた皆様に心より御礼申し上げます。今後も最新技術を活用しながら、ユーザー業務の安全性・生産性向上をより効果的に支援できるよう、技術向上に努めてまいります。

ユナイト株式会社

- ICT路面切削システム「3D-RTC」
- 追突防止補助装置「U-Stoppen(油圧ショベル・ローラーバージョン)」
- ICT舗装工システム
- 切削材積込管理システム など

株式会社ソーキ

- 切削機3Dマシンコントロールシステム「MMNav」
- 自動追尾/自動視準トータルステーション「GT-1200/600シリーズ」
- 作業員安全管理システム「通報プルプル」
- 工事車両 無音誘導システム「おとなしくん」 など



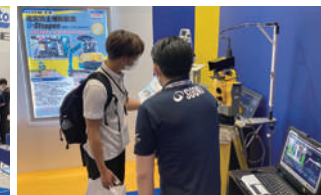
建設DXを推進する製品群を展示した3社共同ブース



展示主力製品のポスターも掲示した当社の屋内ブース



U-Stoppenなどを展示したユナイトの屋内ブース



最新のトータルステーションなどを展示したソーキの屋内ブース



第58期第3四半期決算の概況 [2021年11月1日～2022年7月31日]

● 連結経営成績 (累計)

括弧内の数字は、対前年同四半期増減率(%)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
第58期第3四半期	138,828 (－)	9,162 (△15.2)	9,679 (△15.6)	5,927 (△13.2)	159.27
第57期第3四半期	141,455 (6.4)	10,810 (1.4)	11,462 (9.6)	6,829 (11.2)	180.61

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、第58期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。このため、売上高については対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、第57期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

【経営環境】

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の段階的な緩和等により、経済活動の正常化が進み、持ち直しの動きが見られました。しかしながら、足元の感染の再拡大やウクライナ情勢の長期化、世界的なインフレの加速等による影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間設備投資についても緩やかな回復の動きが見られているものの、半導体の供給不足や資材価格・エネルギー価格の高騰による建設コストの上昇のほか、建設技能労働者不足等も深刻化しており、引き続き留意が必要な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、中期経営計画「Creative 60」(2020～2024年度)の3つの重点施策に基づき、アライアンスグループの基盤強化を推し進め、シナジー効果による一層の事業発展ときめ細やかなサービス体制の構築を図っております。また、実需に応じた機動的な投資戦略に加え、将来を担う人財の確保や育成へ注力するなど、持続的發展と企業価値の向上に尽力しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は1,388億280百万円となりました。利益面につきましては、レンタル需要の動向に加え、人財投資による販管費の増加もあり、営業利益は91億620百万円(前年同期比15.2%減)、経常利益は96億790百万円(同15.6%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は59億270百万円(同13.2%減)となりました。

【セグメント別の業績】

建設関連

主力事業である建設関連におきましては、防災・減災、国土強靱化対策や社会資本の老朽化に対応する維持・更新等を中心に公共投資は底堅く推移しているものの、建設需要の地域間格差が一部で顕在化していることもあり、本格的な建設機械のレンタル需要の回復には至らない状況で推移いたしました。

また、当社グループでは、更なる重点投資が見込まれる社会資本の維持補修分野や再生可能エネルギー分野への対応力強化に加え、デジタル改革の加速や脱炭素社会の実現に向けて望まれる建設現場の省力化と環境保全に寄与する環境対策機器などの技術開発や業務提携も推進しております。

中古建機販売につきましては、期初計画どおりレンタル用資産の運用期間の延長を進めていることから、売上高は前年同期比16.0%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は1,258億790百万円、営業利益は79億290百万円(前年同期比17.7%減)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報関連、福祉関連ともに堅調に推移したことから、売上高は129億490百万円、営業利益は8億650百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

第58期通期業績予想の修正

当社は、最近の市場動向や現時点において入手可能な情報に基づき、2022年10月期(2021年11月1日～2022年10月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしました。

● 連結業績予想 (累計)

括弧内の数字は、対前期増減率(%)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
第58期通期	186,900 (－)	13,500 (△7.7)	14,000 (△9.0)	8,600 (△3.4)	231.07

(注) 第58期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、売上高については対前期増減率は記載しておりません。

【修正の理由】

当社グループが関連する建設業界の2022年10月期の動向につきましては、社会全体の世界的なインフレ、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、公共投資は底堅く推移し、民間建設投資も持ち直しの動きがみられているものの、地域差もあり本格的な建設機械のレンタル需要の回復にはやや時間がかかると予想されます。

また、レンタル需要の動向に加え、将来を担う人財投資増加等の影響から、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益についても、当初計画を下回る見込みとなることから、通期の連結業績予想を修正することといたしました。

■ 連結財務諸表

四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)

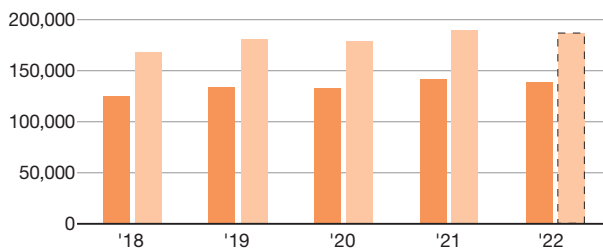
(単位:百万円)	第57期第3四半期 (2020.11.1~2021.7.31)	第58期第3四半期 (2021.11.1~2022.7.31)
① 売上高	141,455	138,828
売上原価	100,075	98,004
売上総利益	41,380	40,823
販売費及び一般管理費	30,569	31,661
② 営業利益	10,810	9,162
営業外収益	895	806
営業外費用	243	290
③ 経常利益	11,462	9,679
特別利益	51	191
特別損失	222	187
税金等調整前四半期純利益	11,292	9,683
法人税、住民税及び事業税	3,636	2,554
法人税等調整額	168	715
四半期純利益	7,487	6,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	657	485
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	6,829	5,927

四半期連結包括利益計算書(第3四半期連結累計期間)

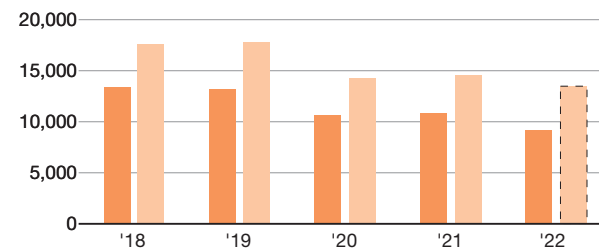
(単位:百万円)	第57期第3四半期 (2020.11.1~2021.7.31)	第58期第3四半期 (2021.11.1~2022.7.31)
四半期純利益	7,487	6,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	370	8
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	852	1,644
退職給付に係る調整額	6	41
その他の包括利益合計	1,229	1,694
四半期包括利益	8,716	8,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,055	7,613
非支配株主に係る四半期包括利益	660	495

■ 第3四半期 ■ 通期 □ 通期予想 単位:百万円

① 売上高



② 営業利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第57期 (2021.10.31)	第58期第3四半期 (2022.7.31)
(資産の部)		
流動資産	126,751	121,501
固定資産	177,003	188,040
有形固定資産	156,135	162,703
無形固定資産	6,904	6,921
投資その他の資産	13,963	18,415
資産合計	303,754	309,542
(負債の部)		
流動負債	87,230	85,941
固定負債	81,607	85,557
負債合計	168,837	171,498
(純資産の部)		
株主資本	124,226	125,198
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,326	19,332
利益剰余金	89,048	91,981
自己株式	△ 1,978	△ 3,945
その他の包括利益累計額	2,729	4,415
その他有価証券評価差額金	2,249	2,258
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	541	2,185
退職給付に係る調整累計額	△ 60	△ 29
非支配株主持分	7,960	8,429
純資産合計	134,917	138,043
負債純資産合計	303,754	309,542

とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で50名様に当社ノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルダイアリー手帳2023年版です。表紙には手触り良く弾力性に富んだ、汚れに強い塩化ビニールを使用。レイアウトはスケジュール管理のしやすいプロジェクトタイプを採用、集計ページも多く、サイズは縦17.4cm×横8.5cmと使いやすい一冊です。

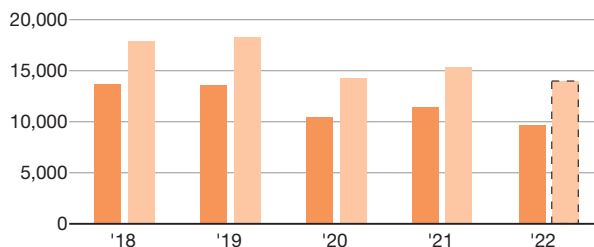
ご応募の締め切りは2022年11月4日(金)当日消印有効です。

なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

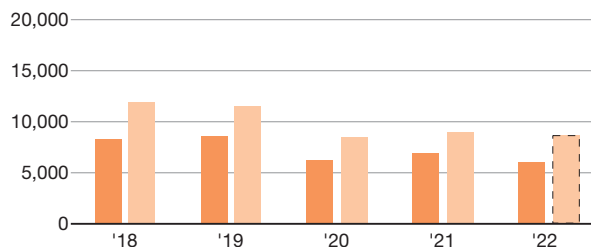


■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

③ 経常利益



④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益





3Q 2022.5 当社子会社「株式会社NEK」による株式会社セントラルの事業譲受について発表

第4回建設・測量生産性向上展(CSPI-EXPO2022)に出展(幕張メッセ) 

2022.6 株式会社サンワ機械リースを吸収合併

IR 第58期(2022年10月期)第2四半期決算発表

IR 第58期(2022年10月期)第2四半期決算オンライン説明会を実施(機関投資家向け) 

ICT機器(建設機械遠隔操縦システム「KanaTouch」
独立型後付アタッチメント)を活用した災害対応訓練を実施 

2022.7 レンタル事業部「西日本地区」本部(大阪市中央区)が移転

株式会社セントラル(非連結子会社/旧:株式会社NEK)が事業開始



4Q 2022.9 IR 2022年10月期業績予想の修正について発表

IR 第58期(2022年10月期)第3四半期決算発表

取扱商品のご紹介

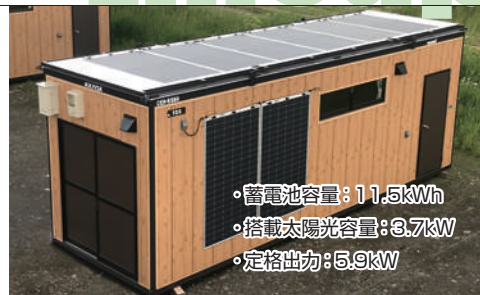
グリーンエネ・ハウス

太陽光パネルと蓄電システムを搭載した次世代型の
仮設ユニットハウス「グリーンエネ・ハウス」をご紹介します。

太陽光によるクリーンエネルギーを活用し、エアコンや照明など室内の電源を独立稼働させることができる「グリーンエネ・ハウス」。その大きな特長は、オフグリッド(単独型)^{*1}でもオングリッド(系統連系型)^{*2}でも発電可能な「ハイブリッドの蓄電システム」であること。設置場所を選ばず、さまざまな環境で大容量バッテリー・高出力の高機能が発揮されます。

^{*1} 商用電源や電気工事が不要の独立した発電システム

^{*2} 太陽光による発電だけでは足りない時、商用電源から買電できるシステム



- ・蓄電池容量: 11.5kWh
- ・搭載太陽光容量: 3.7kW
- ・定格出力: 5.9kW

設置環境に合わせて選べる蓄電システムは「災害時」にも活躍します

電池残量を任意設定できるため(基本設定は70%)非常用電源として機能し、災害時・緊急時の拠点基地や避難場所として活用いただけます。また、蓄電した電気を他のユニットハウスや照明灯などに使用することも可能です。



ソーラーパネルの設置形式やハウス種類などのご要望にもオプションにて対応可能です。



会社概要 (2021年10月31日現在)

商号	株式会社カナモト (英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964 (昭和39) 年10月28日
資本金	178億29百万円 (払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所プライム市場・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	38,742千株
連結売上高	1,894億16百万円 (2021年10月期)
連結従業員数	3,793名 (役員、嘱託、臨時社員を除く)

役員 (2022年7月31日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	成田 仁志*		生島 典明
	金本 龍男*		松下 克則
	橋口 和典*		石若 保志
	三野宮 朗*	執行役員	熊谷 浩
	渡部 純*		問谷 悟
	廣瀬 俊*		佐藤 信幸
	山下 英明*		中谷 秀樹
	内藤 進		田中 誠一
	有田 英司		渡辺 光郎
	米川 元樹		小野田 隆司
	田端 綾子		山根 恵司
	大川 哲也		伊藤 徹

(注) 1. *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
 2. 取締役内藤進氏及び取締役有田英司氏、取締役米川元樹氏、取締役田端綾子氏、取締役大川哲也氏は社外取締役であります。
 3. 監査役生島典明氏及び監査役松下克則氏、監査役石若保志氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
 ホームページのURLは下記のとおりです。

<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>
 なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

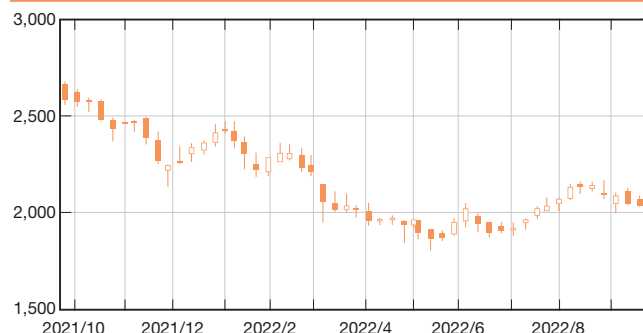
証券代行部	〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
証券代行部	〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 電話 0120-232-711

株式に関する各種手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート (週足)

単位：円





本誌は、再生紙とベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **力十**

(証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel:(011)209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7

Tel:(03)5408-5600

<https://www.kanamoto.co.jp>

